



# ここまでできた 病院グループウェア

CoMedix  
コメディクス

# ご挨拶

-  CoMedixは、2005年3月に発売開始依頼、4年目を迎えました。おかげさまで、累積導入施設数121、累積導入機能数179、約25,000人の医療従事者の方に、日々、ご利用いただいております。
-  本日は、CoMedixの目指す新しいシステム導入の方向性をご紹介します。

# CoMedixの特長









- 🌐 コメディクスは、1サーバに、情報共有のためのグループウェアと業務機能を統合したパッケージ製品としてご提供します。
- 🌐 導入コスト、運用管理コストを下げると同時に、無駄にサーバ数を増やさないため、電力消費を抑え、温暖化対策にも貢献するエコロジーシステムです。



# グループウェア機能

- 🌐 お知らせ, 回覧板
- 🌐 スケジュール管理
- 🌐 設備予約
- 🌐 電子メール
- 🌐 出勤表管理(タイムカード)
- 🌐 文書管理(文書サーバ)
- 🌐 委員会支援
- 🌐 決裁、申請(ワークフロー)
- 🌐 掲示板, 電子会議室

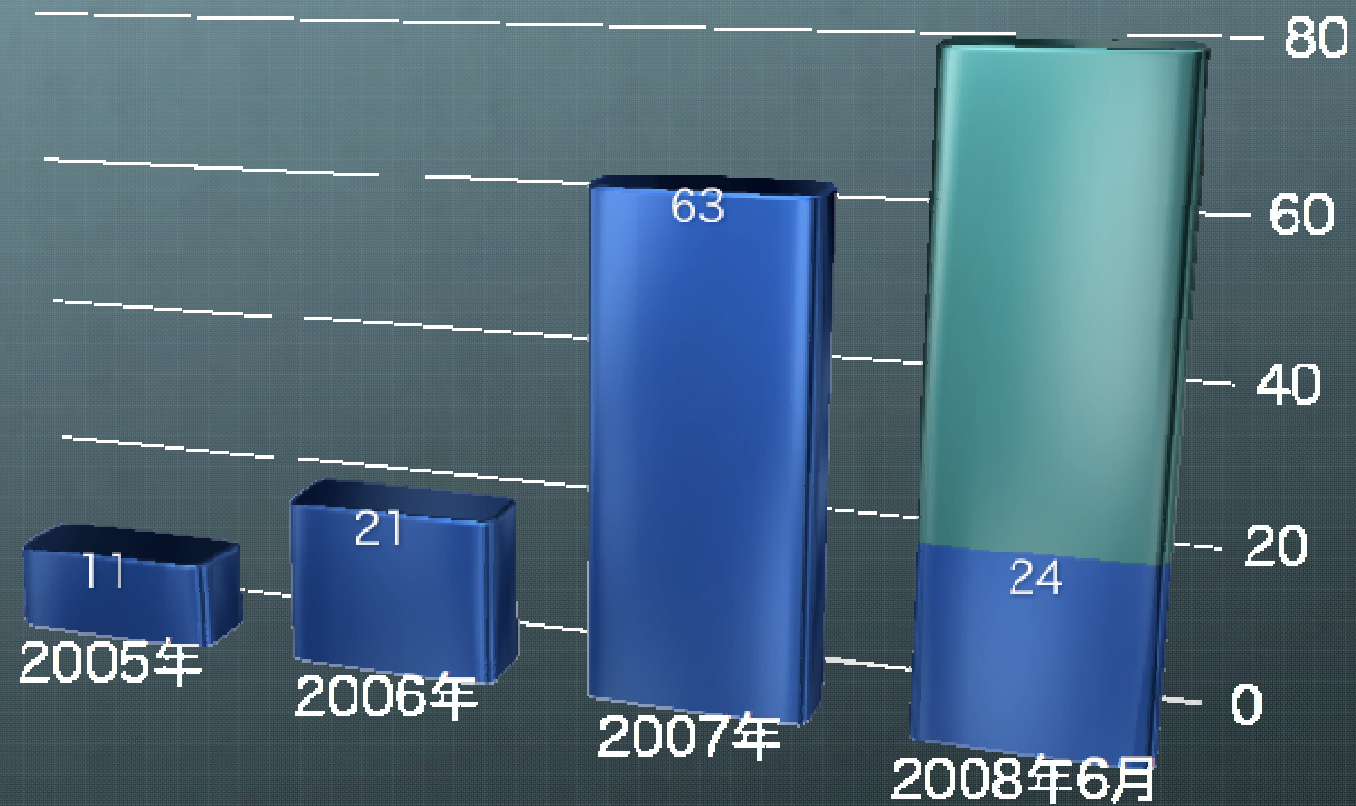
# 医療用の業務機能

-  患者管理
-  病床管理(ベッドマン)
-  診療記録(メドレポート)
-  インシデントレポート(ファントルくん)
-  勤務シフト作成
-  看護観察記録(看護必要度など)
-  クリニカルラダー
-  電子カルテビューワー

# 年度別導入施設数

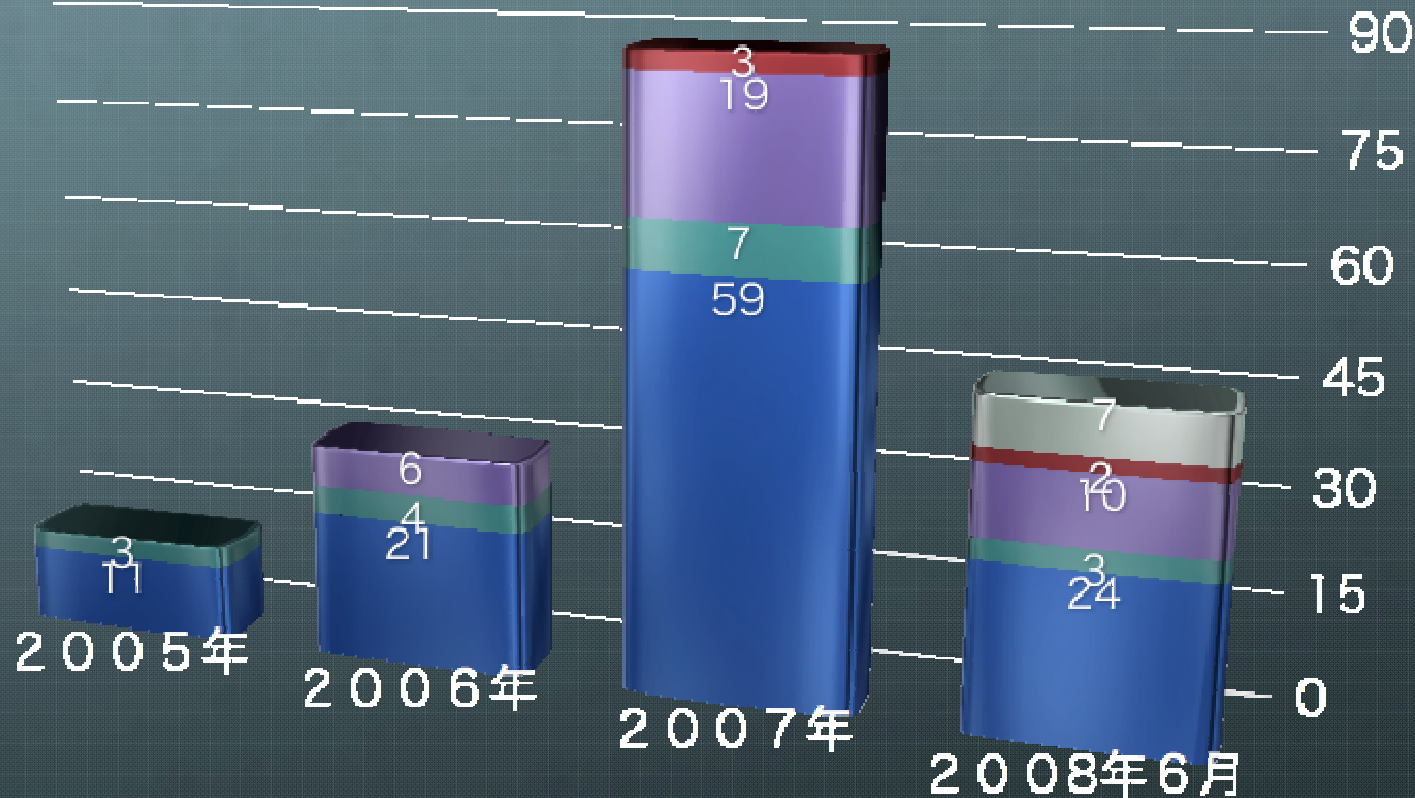
■ 導入施設数

■ 2008年予測

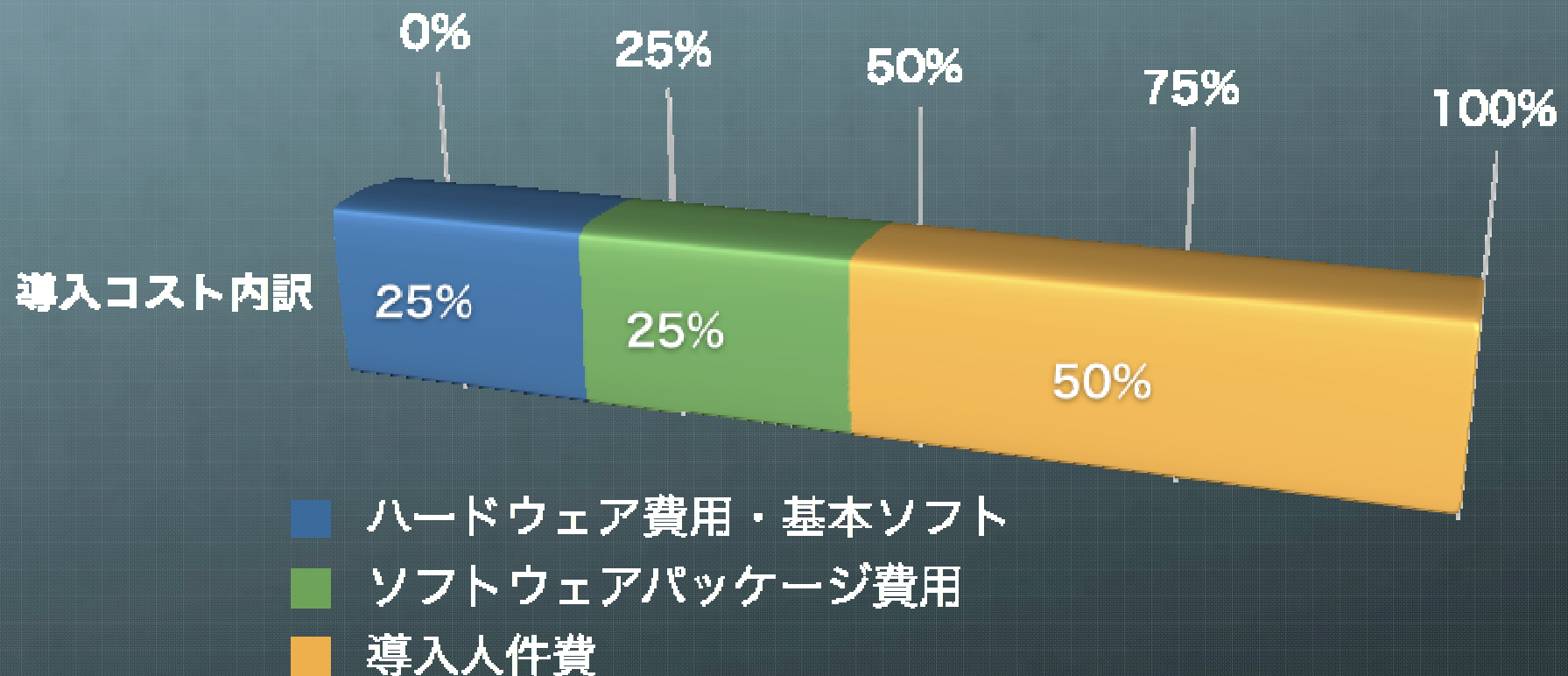


# 機能別導入実績







- グループウェア
- インシデントレポート
- 勤務シフト
- 病床管理
- 診療記録



# 低コストを実現する仕組み 一般的な医療情報システムの価格構造



# 低コストを実現する仕組み 導入人件費の内容

-  サーバ等の導入作業
-  マスタ設定費用
-  運用フロー検討
-  カスタマイズ費用
-  運用テスト操作研修
-  稼働後のフォロー

# 低コストを実現する仕組み 医療情報システムのその他のコスト

- さらに、…
- ランニングコスト
  - 保守費用、光熱費、家賃
- 見えない(見えにくい)コスト
  - システム稼働までと、稼働後に運用を定着、継続するための職員の人件費

## 低コストを実現する仕組み 個別パッケージで導入すると！

- 🌐 サーバ費用、導入人件費、保守費、職員人件費は、単純に足し算の費用になります。
- 🌐 さらに、パッケージ間のデータ接続費用が加わります。
- 🌐 特に、中小病院で、大規模病院でのこのような導入方式を採用しては、ITコストが経営を圧迫します！！

# 低コストを実現する仕組み コメディクスではこうなる！

- 🌐 1サーバ、統合パッケージのコンセプト
- 🌐 サーバ費用は1台分、導入作業費用は1回だけ、マスタ設定も、職員マスタや組織マスタなど共通部分は1度のみ
- 🌐 保守費用や光熱費も統合することで最小化
- 🌐 操作性が統一されているので、操作研修時間の短縮
- 🌐 パッケージ機能間のデータ接続費用は不要



# 低コストを実現する仕組み 250床規模病院での導入費用見積もりの事例

単位：千円

システム	他社	コメディクス
グループウェア	4,600	2,300
インシデントレポート	3,400	1,400
看護勤務シフト	3,800	1,400
合計	11,800	5,100

- 🌐 導入費用だけを比較しても、半額以下になります。
- 🌐 保守費用や、光熱費、職員人件費のコストを考慮すると大幅なコスト削減ができます。
- 🌐 さらに、病床管理、看護必要度、診療記録などを統合すると、さらにコスト削減が可能です。





# 低コストを実現する仕組み 1%ダウンを目指す

-  一般に、現状では、電子カルテを含む統合医療情報システムの導入と運用には、医業収益の3%~4%がかかります。
-  コメディクスでは、電子カルテの周辺業務を統合パッケージ化することにより医業収益の2%以下を目指します。

# 導入しやすさを実現する仕組み

- 🌐 WEBブラウザのみで動作するシステム電子カルテや、医事会計システム、部門システムとも共存、同じパソコン上で利用できる。
- 🌐 パソコンには、プログラムもデータも保存しません。
- 🌐 サーバのOSは、Linuxのため、Windowsパソコンが、コンピュータウィルスに感染しても、サーバには感染しません。
- 🌐 定期的なサーバの再起動は、不要です。
- 🌐 コメディक्सのバージョンアップ時もサーバの停止、再起動は、不要です。ユーザが利用しているまま更新します。

# 使いやすさを実現する仕組み

-  導入済みの120超の医療施設からのご要望を反映させながら、日々、改善を続けています。
-  改善されたプログラムは、月1回、インターネット上の会員サイトから、アップデートプログラムをダウンロードして、職員が簡単な手順でサーバに反映することができます。
-  ユーザが利用している最中に更新できます。サーバの停止、再起動は不要です。
-  徐々に進化させることで、操作研修は不要にできます。

# CoMedixの理念

1. 医療業界で明るいIT導入を実現する。
2. 医療従事者も、導入担当の技術者も、経営者も、そして患者も笑顔になれるIT導入を実現する。
3. 安い、導入しやすい、使いやすいシステムを広く普及させ、医療の効率化を実現することで社会に貢献する。